

個人投資家向け会社説明会

2025年12月10日

豊かな社会へのパートナー 神栄グループ

神栄株式会社

証券コード:3004

目次



1.会社概要 P2

2.中期経営計画 P12

3.業績等 P41



会社概要



会社概要

- ◆ 1887年、神戸の地で誕生
- ◆ 社名の由来

神戸の繁栄への願い

発祥の地である神戸栄町

- ◆ 神戸とともに成長し、時代の試練にも果敢に立ち向かいながら社業を発展

経営理念

神栄は、新しい価値の創造につとめ
豊かな社会づくりに貢献します。



沿革

纖維

生糸問屋
として誕生

1887

1915
以降

生糸の輸出から
様々な貿易に発展

1928 生糸の生産
(製糸業)開始

1970 中国からの
衣料品輸入を開始

1983 製糸業
から撤退

電子

1943 生糸工場を転用し
コンデンサを製造

1970

生糸生産に必要な湿度管理
の知見で湿度センサを開発

物資

生糸の輸出から
様々な貿易に発展

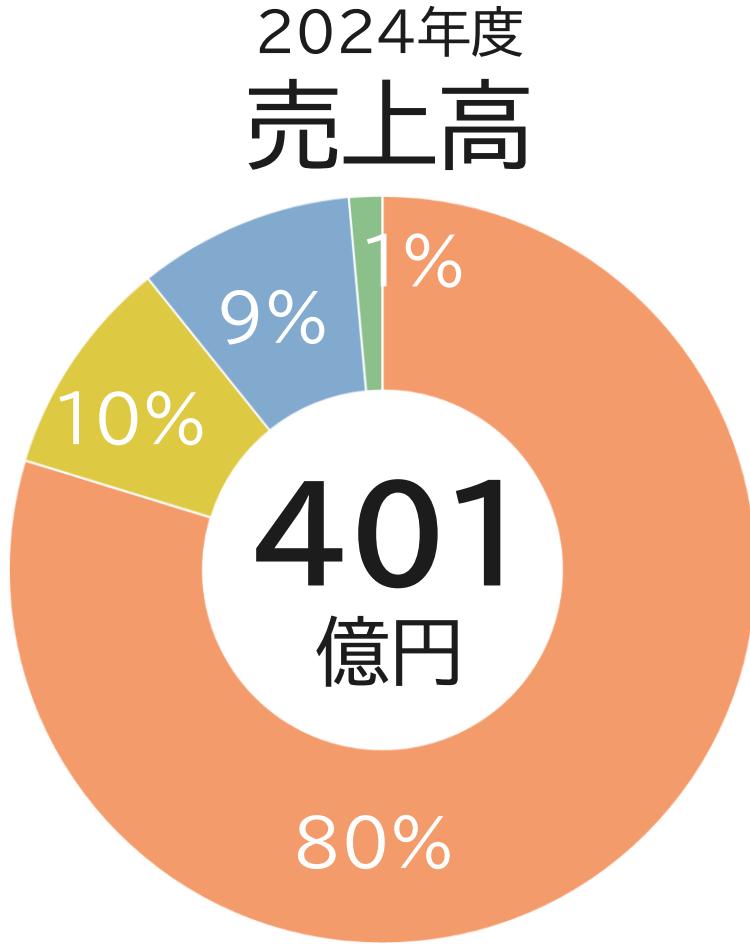
食品

1954 中国からの
落花生輸入を開始

1971

日本ではじめて中国
から冷凍野菜を輸入

事業構成



食品関連

320 億円

物資関連

38 億円

電子関連

37 億円

事業開発関連

5 億円

* 2024年度より「繊維関連」を「事業開発関連」に再編

商社機能に
一部製造部門をあわせ持つ
ハイブリッド型が特長

◆国内冷凍食品事業

主に海外の協力工場で生産した
冷凍野菜・冷凍調理品・冷凍水産加工品を
日本で販売



◆農産事業

世界各国から輸入した落花生・ナッツ類を
日本で販売



◆海外事業

中国・香港市場において各種冷凍食品を販売

◆防災コンサル事業

防災に関するコンサルティング、防災工事に必要な資機材を海外に提供

◆北米輸出事業

各種試験機や高機能特殊ベアリングなどを
北米へ輸出



◆物資輸出入事業

東南アジア製鋳物製品を輸入、日本の建設機械
を輸出、歯ブラシなど日用品を販売



◆建築金物・ガラス事業

集合住宅向け建築金物を製造・販売、ガラスを
輸入・販売



◆センサ機器事業

湿度・ホコリなど“空気質を測る”センサを製造・販売



◆計測機器事業

産業・物流用途の高精度な各種計測機器を
製造・販売



◆試験機事業

輸送や包装に関わる落下・衝撃試験機などを
製造・販売



◆コンデンサ事業

民生から産業・車載用途まで様々なコンデンサを
製造・販売



◆新規事業開発

CSV*を理念に新規事業や新たなビジネスモデルを開発

* Creating shared value(共通価値の創造):

企業が事業を通じて「社会的価値」と「経済的価値」の両立を目指す考え方

◆アパレル通販事業

テレビショッピング向けの婦人服をメインに
競争力のあるアパレル事業を展開



◆食品輸出事業

高品質な日本産の食品を選びすぐり
香港・東南アジアを中心に海外へ輸出



拠点

神戸から世界へ
アジアを中心に北中米でも事業を展開



<国内拠点>

神戸・東京・福岡・沖縄・名古屋・札幌

<国内子会社>

神戸・東大阪・東京・つくば・福岡・長野

<米州>

- ニューヨーク(米国)
- ケレタロ(メキシコ)

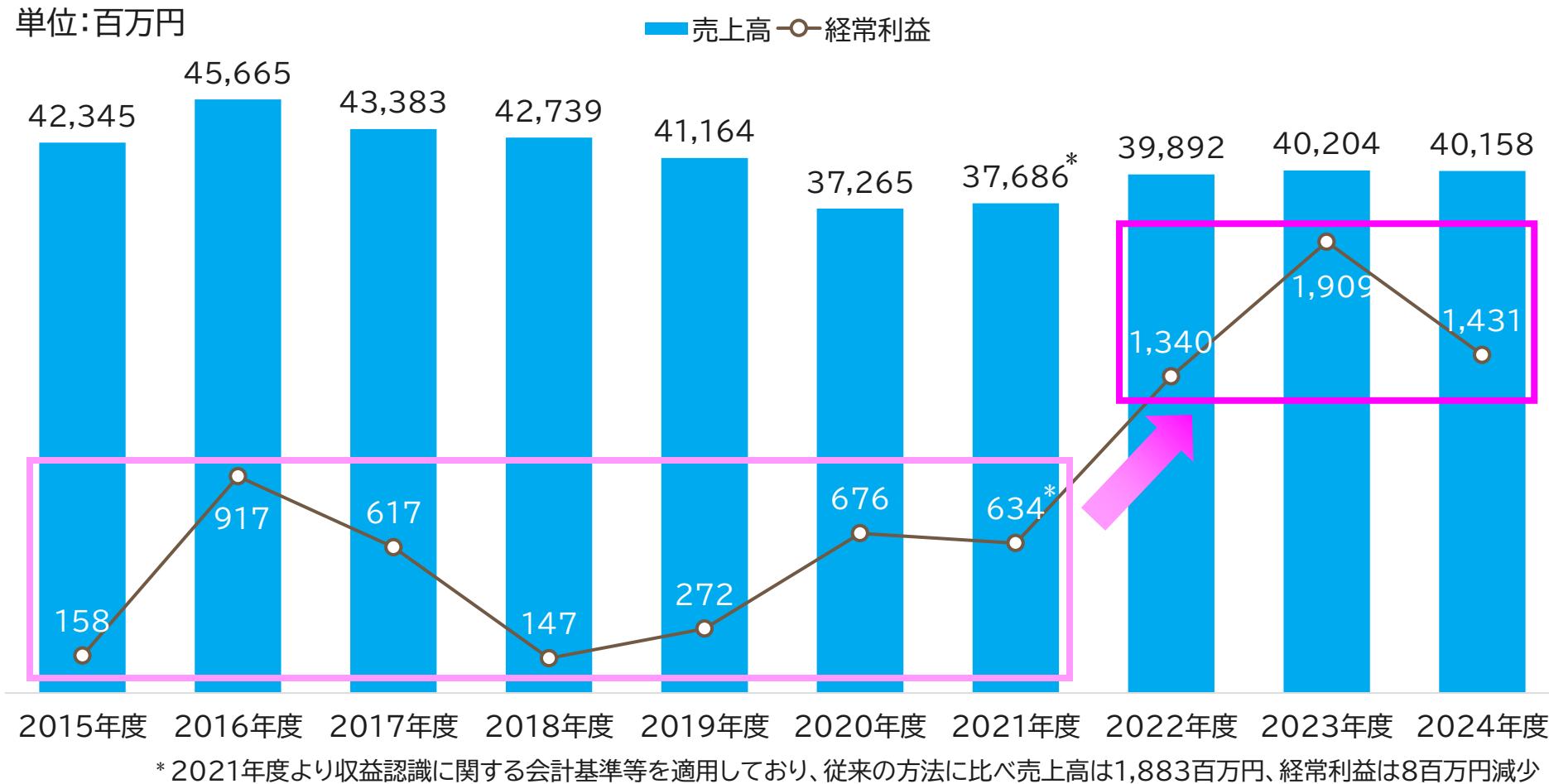
■ 海外支店・事務所 ● 現地法人

業績推移

直近3期は経常利益10億円越えを継続



- ◆不採算事業からの撤退に加え、食品関連・物資関連の収益伸長により、従来より一段高い利益水準を維持



中期経営計画



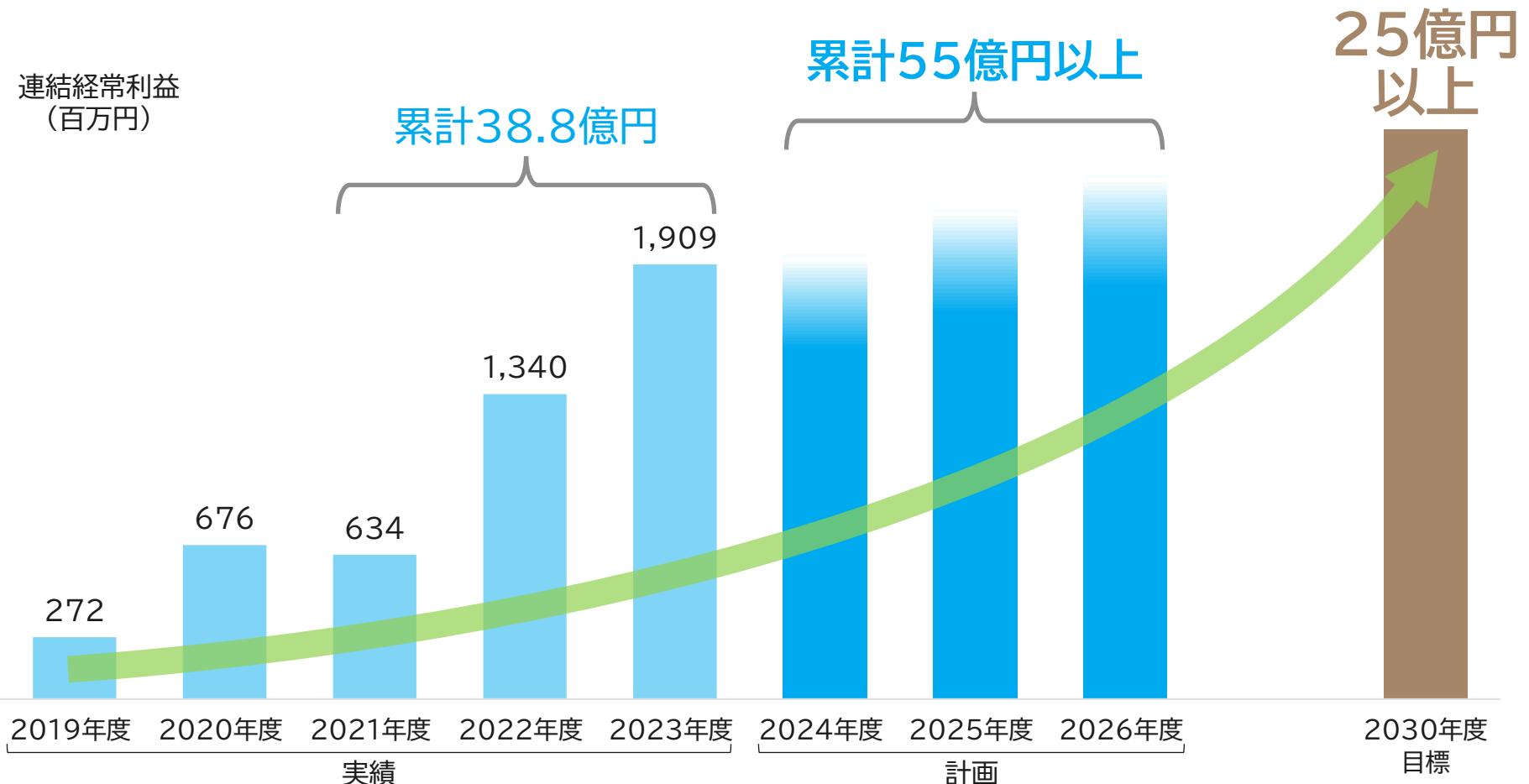
神栄チャレンジプロジェクト2026 ～創立140周年に向けた新たなアプローチ～

- ◆ 2024年度(2025年3月期)～2026年度(2027年3月期)
- ◆ これまで以上に健全で強靭な企業体質を持った状態で
2027年5月の創立140周年を迎える準備のための3年間
- ◆ プロアクティブな人材 * の育成を通じて収益基盤・収益体質の
さらなる強化を図る

* 自分自身や環境に影響を及ぼす先見的・変革的な行動を自ら取れる人材

中期経営計画の大綱(2)

- ◆2030年度目標：連結経常利益 25億円以上、ROE 12%以上維持
- ◆本中期経営計画の3年間に55億円以上の連結経常利益を目指す



數值目標(連結)



◆ 経常利益	(3年累計)	55億円以上
◆ 自己資本比率	(2026年度末)	35%以上
◆ ROE	(2026年度)	15%以上
◆ 配当性向	(各年度)	30%程度
◆ 有利子負債残高	(2026年度末)	120億円以下
◆ PER	(2026年度末)	12倍以上

基本方針



- ◆ 競争力のある事業ポートフォリオの組成による安定した収益の確保
- ◆ 人的資本経営の推進と機会付与による人材力拡充や次世代育成・登用による事業承継の基盤づくりおよび健康経営の推進
- ◆ 社内外と協働する企業風土の醸成
- ◆ サステナブル経営の推進、CSVをベースとするビジネスの展開
- ◆ DXの推進やデジタル技術の活用による、新たなビジネスモデルの構築、生産性改善・業務効率向上
- ◆ コーポレートガバナンス・コンプライアンス・リスクマネジメントの強化継続

事業方針(1)

食品関連

強固なサプライチェーンをベースにさらなる
業容拡大を図り、成長ドライバーとして
神栄グループを力強くけん引

- ◆国内冷凍食品事業 商品開発や調達・販売ルート拡充で一層収益力強化
- ◆農産事業 シェア拡大と採算性向上で持続的成長力のある事業基盤確立
- ◆海外事業 日本国内冷凍食品販売モデルの海外展開で成長軌道確保

単位:百万円	2019年度 実績	2020年度 実績	前中期経営計画			本中期経営計画 2024年度～2026年度 計画
			2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	
セグメント 利 益	1,440	1,304	1,072	1,667	2,103	累計 6,600以上
			累計 4,843			

* 2023年度までの実績はセグメント再編に伴う組替え前の数値

事業方針(2)

物資関連

前中期経営計画中に確立した収益基盤を維持・拡大

- ◆防災コンサル事業 アゼルバイジャンでの役務提供で社会課題を解決
- ◆北米輸出事業 日本の優れた技術・製品を輸出し米国産業に貢献
- ◆物資輸出入事業 生活関連物資の輸出入で豊かな暮らしづくりに貢献
- ◆建築金物・ガラス事業 総合ファブレスメーカー第2位の存在感を顯示

単位:百万円	2019年度 実績	2020年度 実績	前中期経営計画			本中期経営計画 2024年度～2026年度 計画
			2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	
セグメント 利 益	276	276	377	597	627	累計 1,700以上
			累計 1,602			

事業方針(3)



電子関連

高収益事業モデルへの転換を成し遂げ、
収益力回復と将来の成長に向けた基礎固め

- ◆センサ・計測・試験機器事業 産業・物流・車載用途向け高付加価値製品へのシフトやシステム・サービス分野で高収益事業モデルの基盤作りを実現
医薬品物流分野での事業基盤確立
- ◆コンデンサ事業 産業・新エネ用途や車載向け製品開発で収益力回復

単位:百万円	2019年度 実績	2020年度 実績	前中期経営計画			本中期経営計画 2024年度～2026年度 計画
			2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	
セグメント 利 益	109	368	449	308	241	累計 1,100以上
			累計 999			

事業方針(4)

事業開発関連

事業開発コストが先行するも、
新規事業や事業基盤の確立にまい進

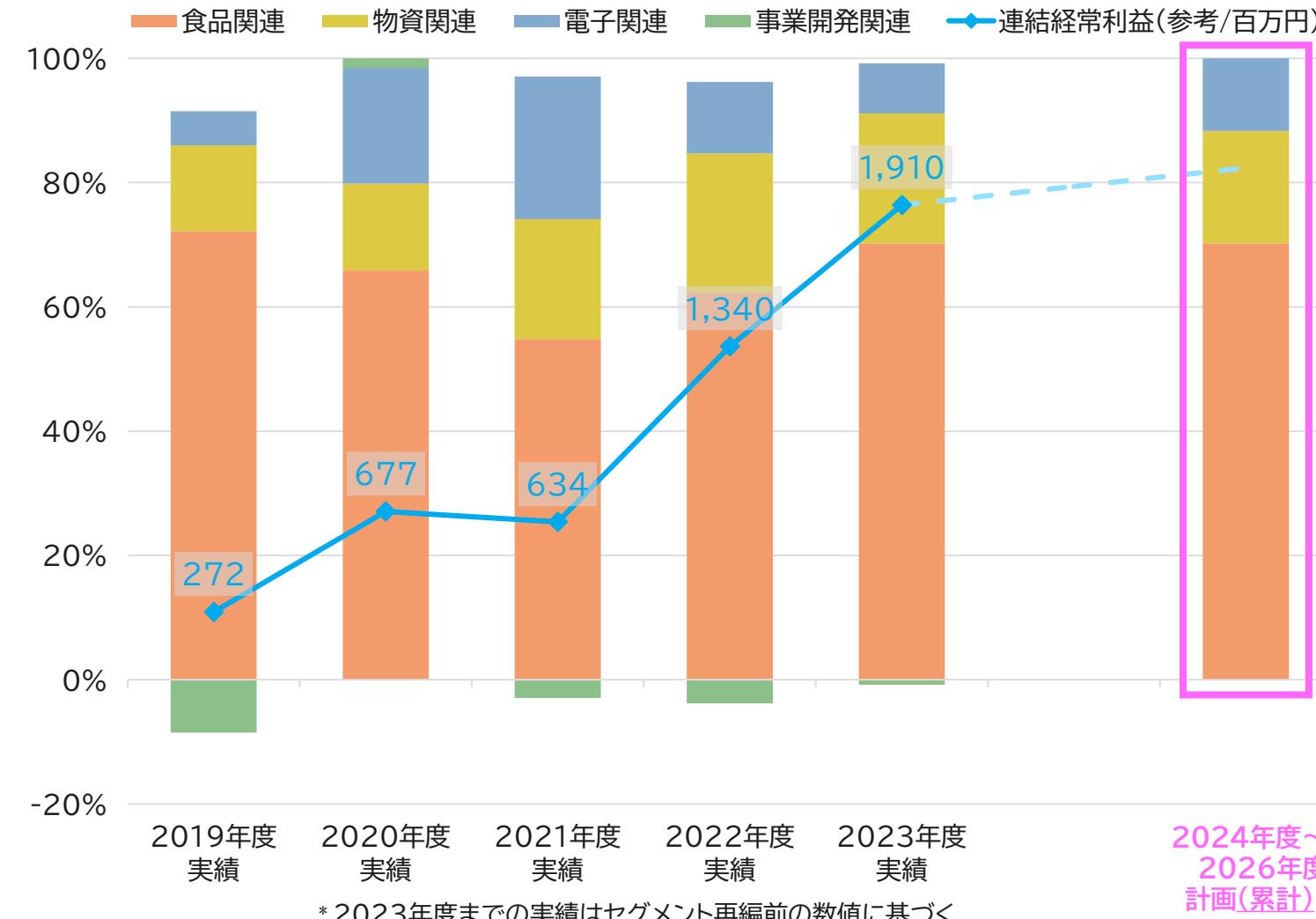
- ◆新規事業開発 CSVの体現による新規事業開発
- ◆アパレル通販事業 中高年向けファッショニズムを牽引するテレビショッピング業界の風雲児として躍進
- ◆食品輸出事業 日本産品海外輸出での持続可能なサプライチェーン確立

単位:百万円	2019年度 実績	2020年度 実績	前中期経営計画			本中期経営計画 2024年度～2026年度 計画
			2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	
セグメント 利 益	△170	30	△57	△101	△23	累計 0以上
			累計 △182			

* 2023年度までの実績は再編前の「繊維関連」の数値

事業ポートフォリオ

セグメント利益比率の推移



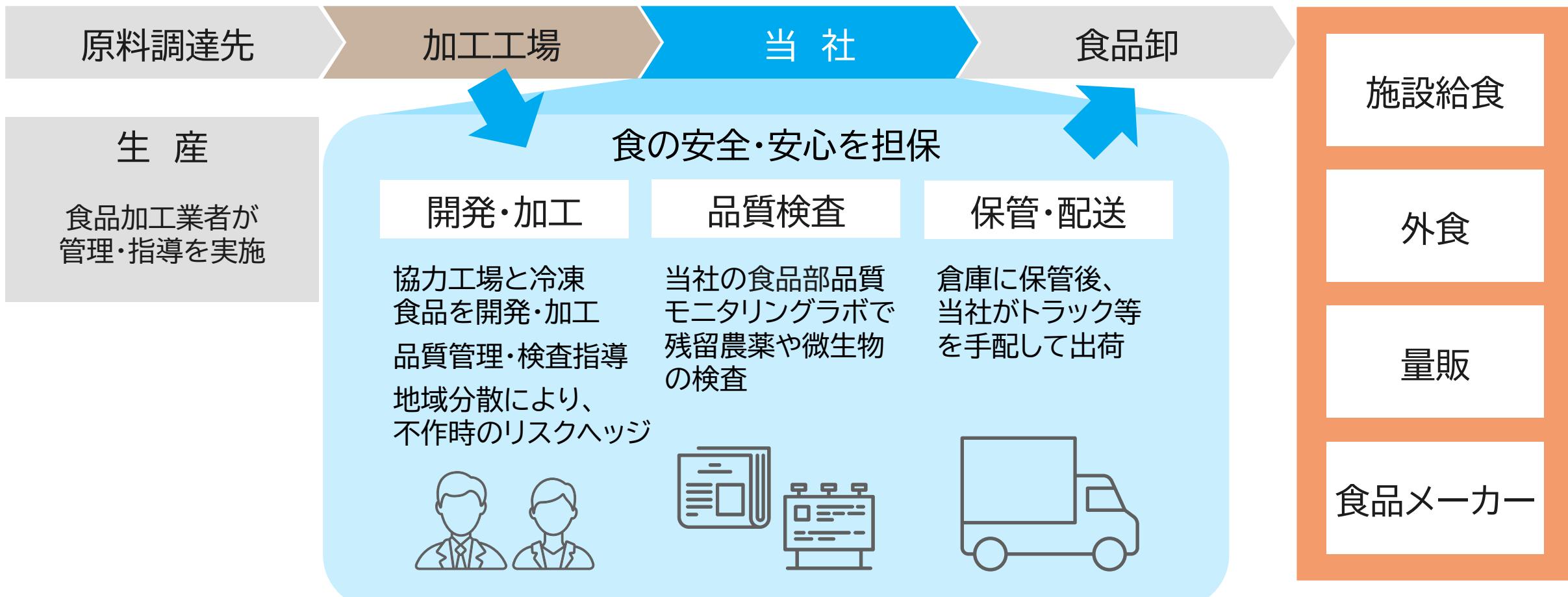
Key point

- 食品関連
引き続き収益の伸長
- 電子関連
セグメント利益比率の向上
- 物資関連
収益の安定化・拡大
- 事業開発関連
収益貢献事業へ

成長戦略(1) 国内冷凍食品事業

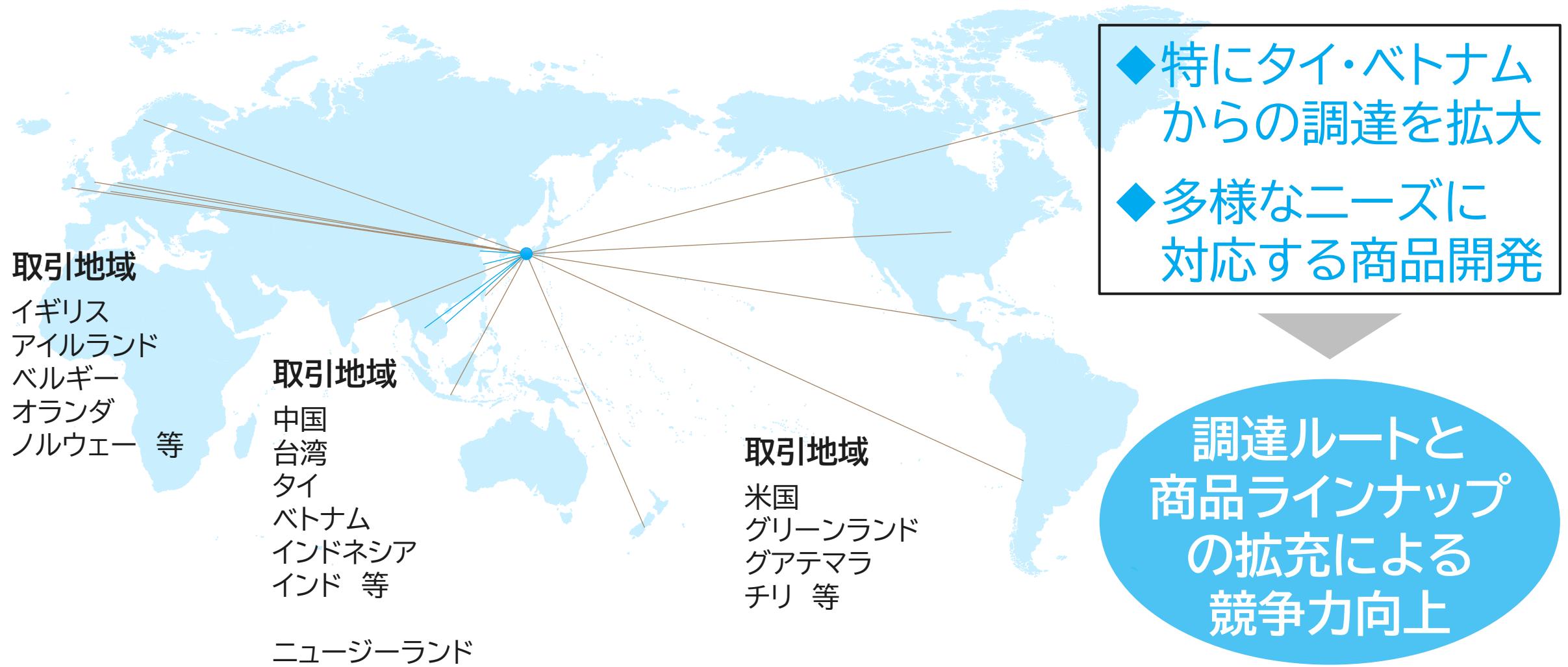


- ◆調達から販売までの強固なサプライチェーンと独自の品質管理に強み
- ◆安定調達・品質管理・物流機能を活かした安定供給と拡販で収益を拡大



グローバルな調達ネットワーク

- ◆信頼関係を築いた世界中のパートナーから食材を輸入

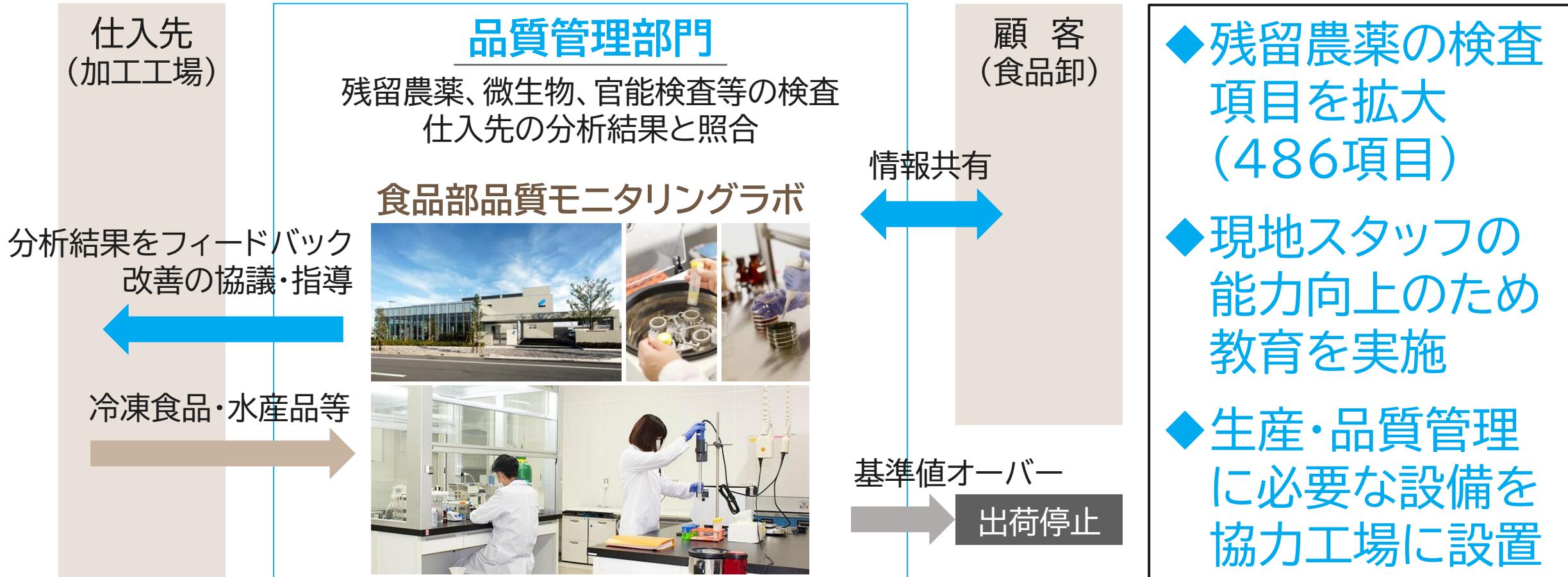


高度な品質管理体制

食品関連



- ◆ 現地スタッフによる生産・品質管理
- ◆ 日本の独立した品質管理部門による監査・指導と独自の検査を実施



全国をカバーする強力な販売網

食品関連



- ◆各地の物流拠点(デポ)より迅速かつきめ細やかな配送に対応
- ◆地域に密着した営業によりお客様と連携を深め顧客サービスを向上



- ◆2025年4月1日に札幌営業所を開設し、沖縄営業所に常駐の営業員を再配置

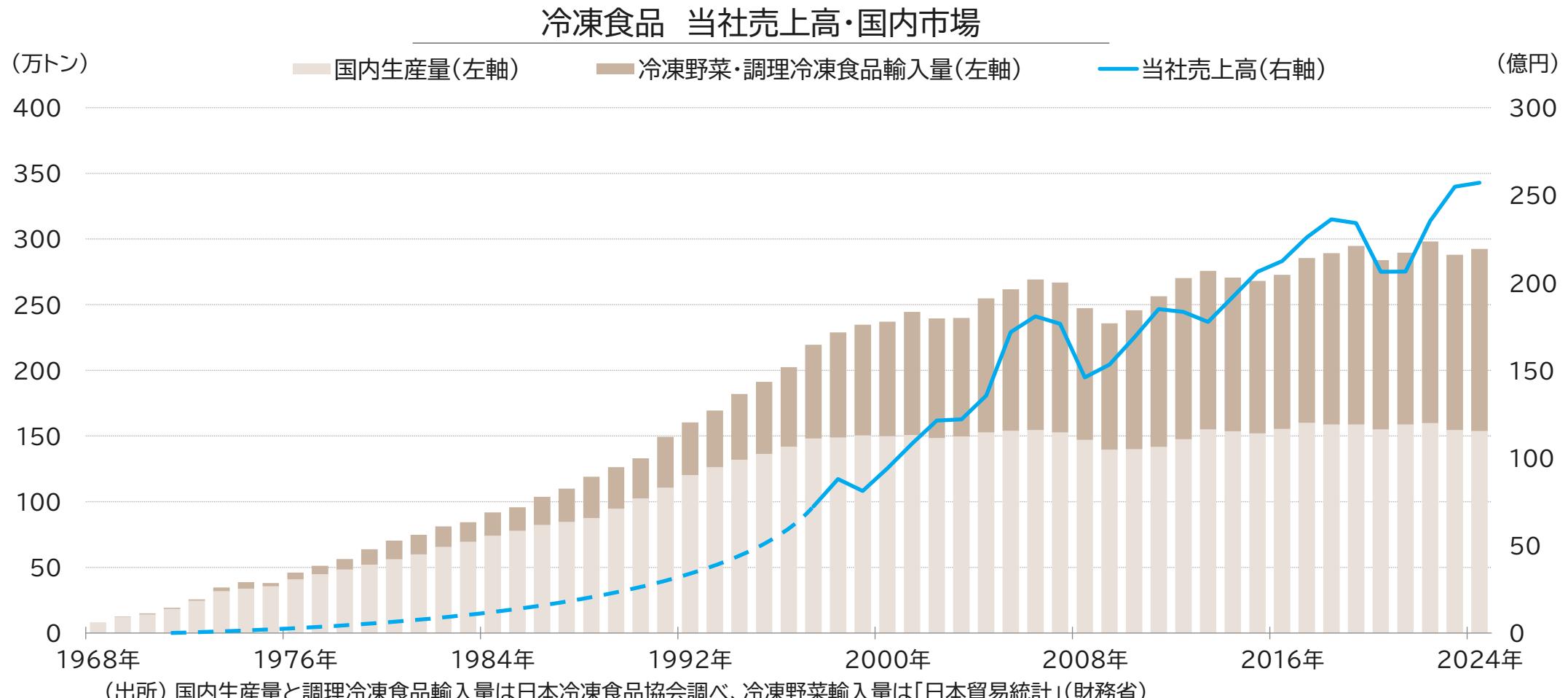
営業機能強化で
既存顧客の深耕や
新規顧客開拓を促進

国内冷凍食品事業における
★：営業拠点
●：主要物流拠点

過去最高売上高を更新



- ◆ 1971年の事業開始以来、冷凍食品の需要拡大に伴い売上高は伸長
- ◆ 2024年度の売上高は過去最高の257億円



社会課題解決への貢献で事業成長



- ◆社会課題の解決に貢献する多種多様な商品ラインナップをさらに拡充
- ◆拡大する市場ニーズを的確にとらえ今後も事業成長

カット済み野菜



乱切りにんじん



レンコンスライス



刻みほうれん草

おいしい

機能的

安全・安心

長持ち

有効活用

リーズナブル

完全調理品>自然解凍



「助っ魚 魚衛門」骨なし切身シリーズ
赤魚煮付け



「助っ魚 魚衛門」骨なし切身シリーズ
サバ塩焼き



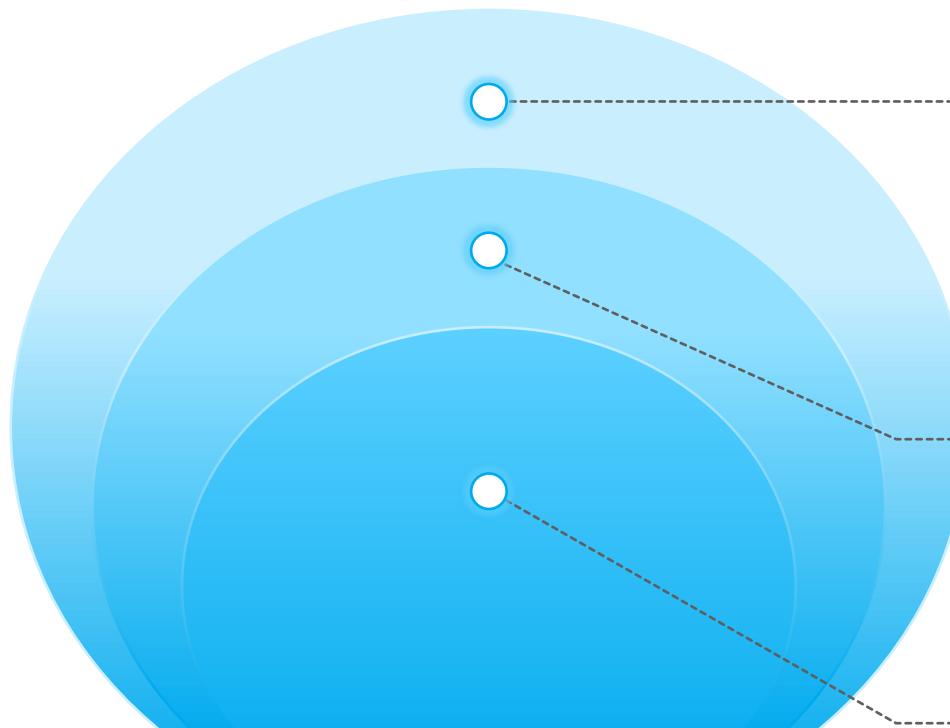
中華総菜シリーズ
彩り八宝菜

社会課題に対応

- ◆人手不足対策
- ◆食品ロス低減
- ◆安定供給

成長戦略(2) 電子事業

- ◆独自の技術力を武器にニッチ分野でシェアトップクラス
- ◆高付加価値製品やシステム・サービス事業で高収益事業モデルへ転換



校正技術
(計測数値の正確さを検証)

ソリューションサービス

- ・ 温度・温湿度計測サービス
- ・ 輸送環境調査
- ・ 校正・修理サービス等

物流・倉庫業界 – 倉庫・トラック・コンテナなどの温湿度管理、
マテハン機器異常検知システム

食品等製造業界 – 現場帳票電子化システム

計測機器

- ・ 温湿度計測機器
- ・ 加速度計
- ・ 温度ロガー等

産業用用途 – ビル空調・クリーンルーム、食品・医薬関連、塗装工程等

センサ センサユニット

- ・ 湿度センサ
- ・ 温湿度センサ
- ・ ホコリセンサ等

民生用・自動車用途 – エアコン・空気清浄機、加湿・除湿器、カーエアコン等

温湿度計測分野の事業拡大

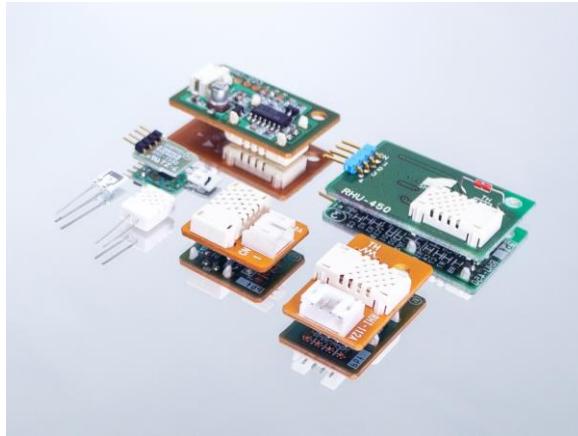
電子関連



◆ 温度・湿度の知見を活かし、高精度な計測機器やサービスへと展開

温湿度センサ・センサユニット

民生用途（エアコン、加湿器など）



温湿度センサ・センサユニット

微量水分計

産業用途（半導体製造工程、製造設備への組込みなど）



TDLAS式露点水分計



CRDS微量水分計

温度マッピングサービス

サービス

医薬品を適切な温度環境で管理することを目的に、医薬品を保管する倉庫などで温度センサを格子状に複数台設置して測定することで、対象エリアの温度分布を評価するサービス

粒子計測分野の事業拡大

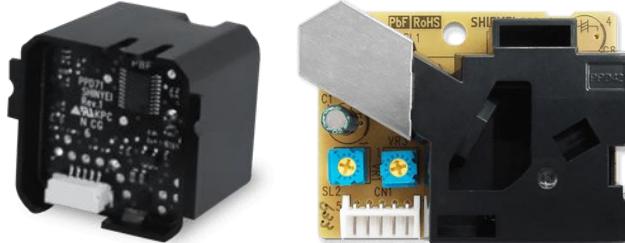
電子関連



◆培った技術とノウハウを基に製品開発し、システム・サービスも複合展開

ホコリセンサユニット

民生用途（エアコン、空気清浄機 など）



ホコリセンサユニット

パーティクルセンシングモニター

産業用途（クリーンルーム、食品工場、塗装工程 など）



パーティクルセンシングモニター

計測機器

空気清浄度管理システム・測定サービス

システム

サービス

パーティクルセンシングモニターを複数台使用し、クリーンルームなどにおける空気清浄度を一元管理するシステムや、測定したデータを分析し改善提案を行うサービス

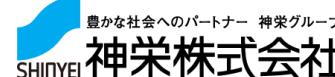


共創によるDX化支援システムの拡充



◆顧客のDX化ニーズのプラットフォーマー*として進化

* 各種センサ機器単体だけでなく、データ収集や保管を行えるシステムやサービス、クラウド機能まで総括的に提供すること



医薬品流通の最適化モデル構築

クラウド型温度監視システム

当社が開発した温度ロガーとクラウド型データ管理システムにより、医薬品の保管・輸送において求められる厳格な温度管理に対応したシステム



温度ロガー

マテハン機器異常検知システム

物流倉庫内で荷物の運搬や保管を省力化・自動化・効率化するために使用するマテリアルハンドリング(マテハン)機器の異常を検知し、物流機能が長時間停滯することを未然に防止するためのシステム



食品製造現場のDX推進

現場帳票電子化システム

食品工場での記録作業のタブレット入力化とクラウドでのデータ一元管理により、品質管理のさらなる向上と業務効率化を実現するシステム

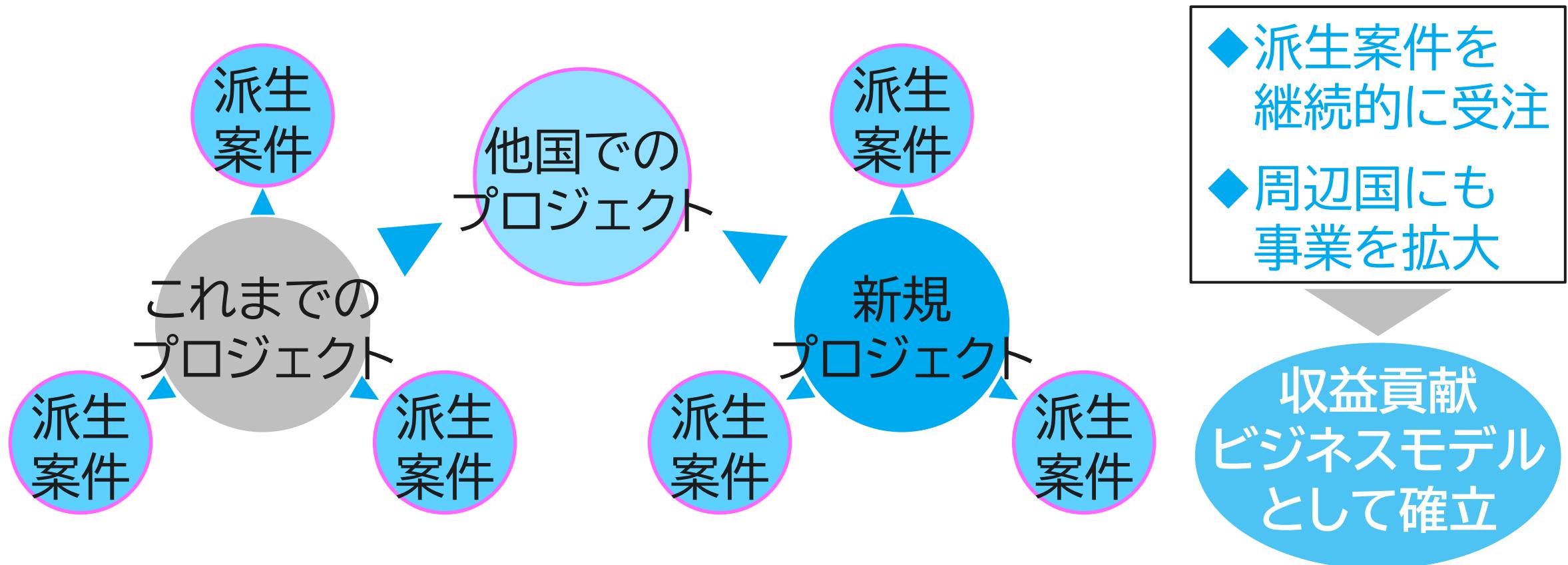


成長戦略(3) 海外防災コンサル事業

物資関連



- ◆ “モノからコトへ”付加価値の高い領域へ事業を展開
- ◆ 日本の優れた知見・技術に基づく防災コンサルティングを海外で実施
- ◆ アゼルバイジャン共和国における国家的な調査プロジェクトをスタート



成長戦略(4) 建築金物事業

物資関連



- ◆ 業界2位の総合ファブレスメーカーとしての長年の実績と高い知名度
- ◆ 協力工場の高度な製造・加工能力を活用した市場ニーズに適う製品開発

集合住宅
リフォーム市場

集合住宅以外

新築市場
・
集合住宅

サービス

新製品

- ◆ 拡大する集合住宅
リフォーム市場を
深耕
- ◆ 企画・開発力を磨き
新たな製品や
サービスを展開

安全・安心、快適、サステナブルな暮らしづくりに貢献

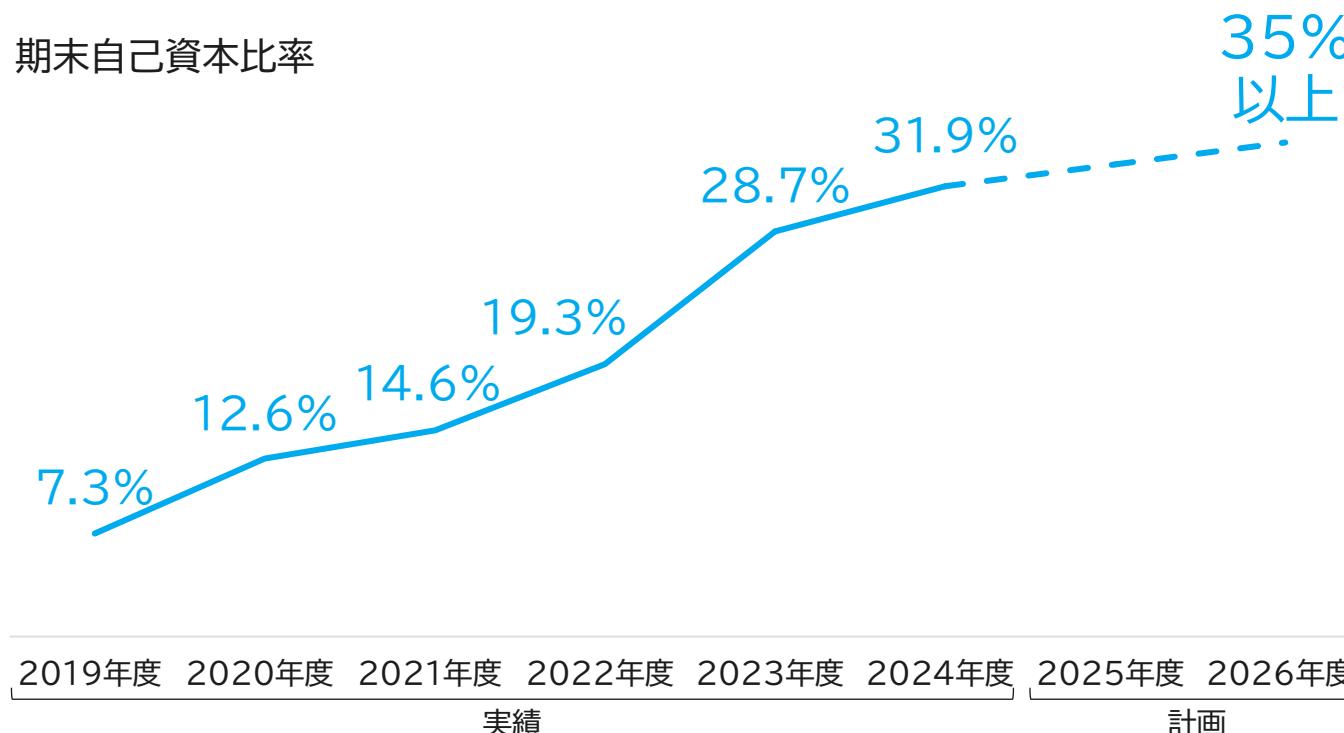
経常利益目標の進捗

◆2025年度は過去最高益(2023年度)も念頭に利益の上積みを目指す

単位:百万円	2019年度 実績	2020年度 実績	前中期経営計画			本中期経営計画	
			2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績
経 常 利 益	272	676	634	1,340	1,909	1,431	累計 5,500以上
			累計 3,884			累計 5,500以上	
食 品 関 連	1,440	1,304	1,072	1,667	2,103	1,883	累計 6,600以上
			累計 4,843			累計 6,600以上	
物 資 関 連	276	276	377	597	627	437	累計 1,700以上
			累計 1,602			累計 1,700以上	
纖 維 関 連	△170	30	△57	△101	△23		
電 子 関 連	109	368	449	308	241	243	累計 1,100以上
事業開発関連			累計 999			△5	
全 社 費 用 等	△1,383	△1,302	△1,208	△1,131	△1,039	△1,127	累計 △3,900以内
			累計 △3,379			累計 △3,900以内	

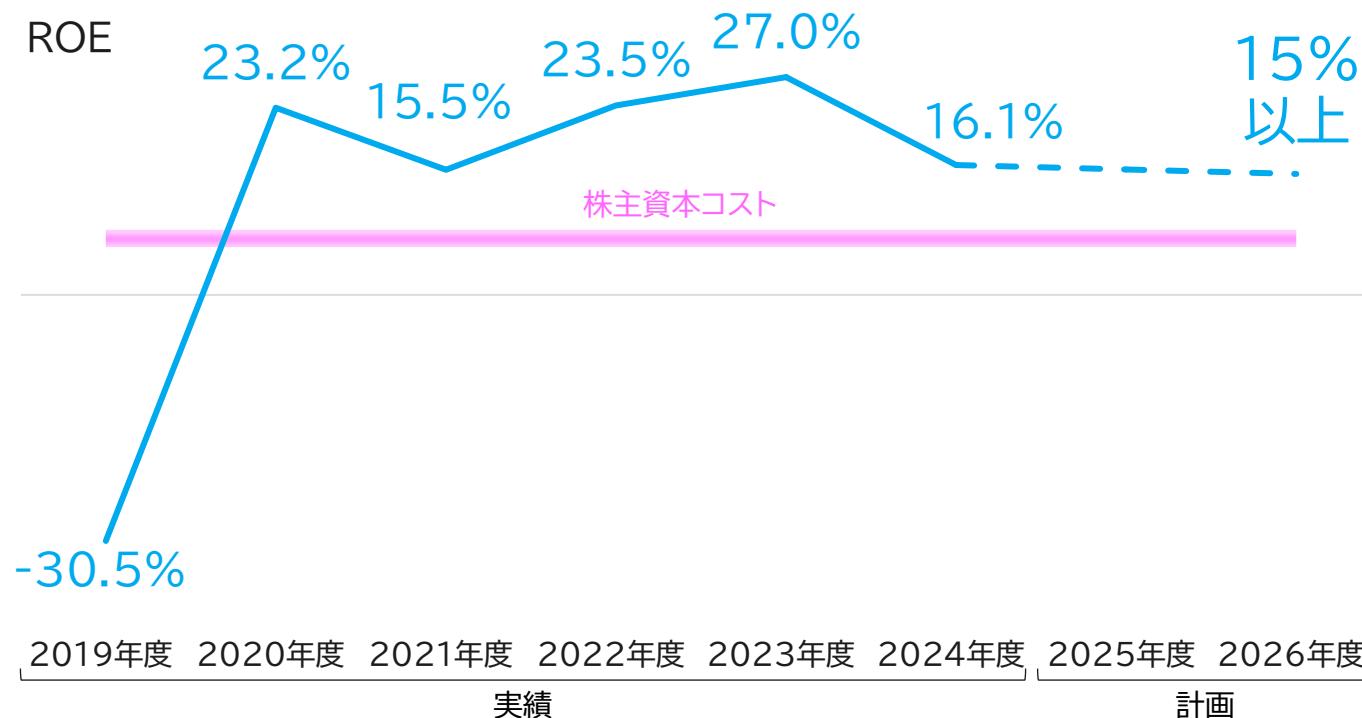
期末自己資本比率目標の進捗

- ◆財務体質強化のため、2026年度に35%以上とする目標
- ◆持続的な企業成長の基盤となる自己資本は利益計上による拡充を基本
- ◆利益計上により自己資本は順調に拡大し2024年度に32%弱まで伸長



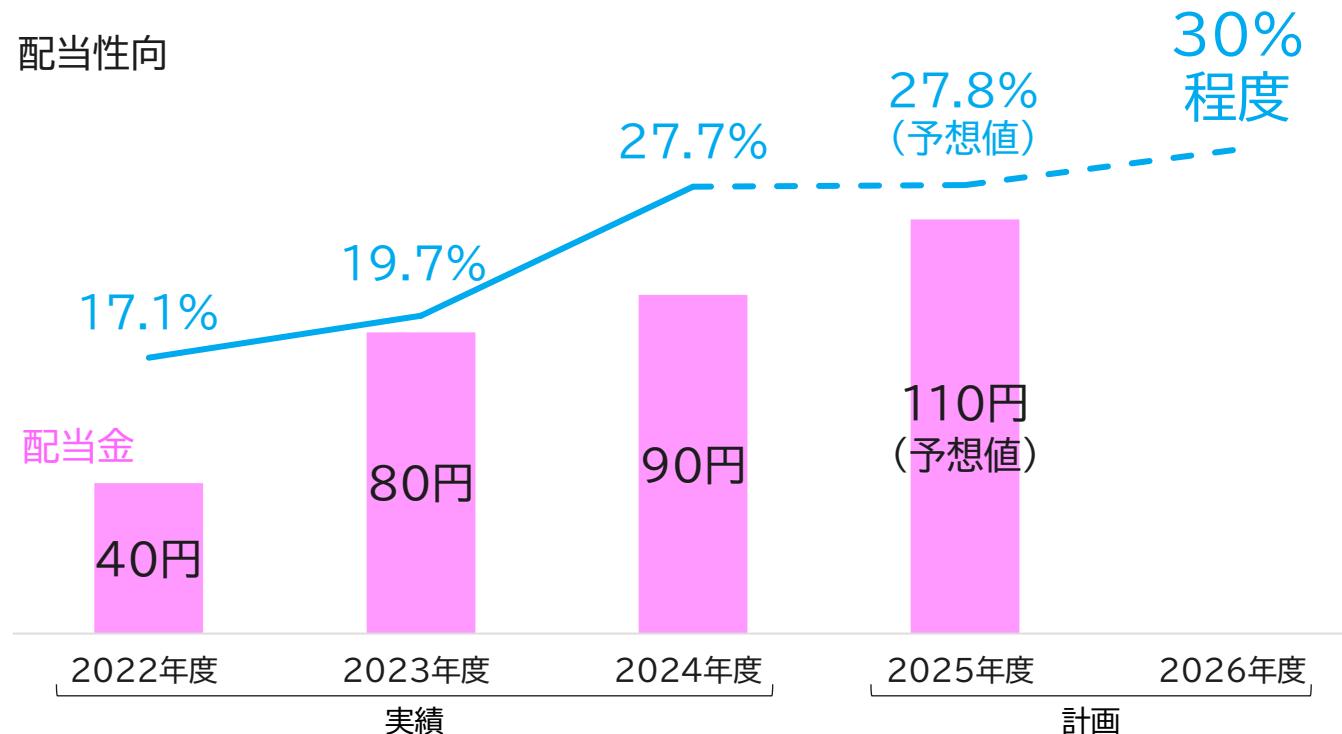
ROE目標の進捗

- ◆収益性の面で、2026年度に15%以上を維持する目標
- ◆株主資本コスト(6~8%程度)を大きく上回る水準を維持
- ◆自己資本の増加により低下も2024年度は16.1%を確保



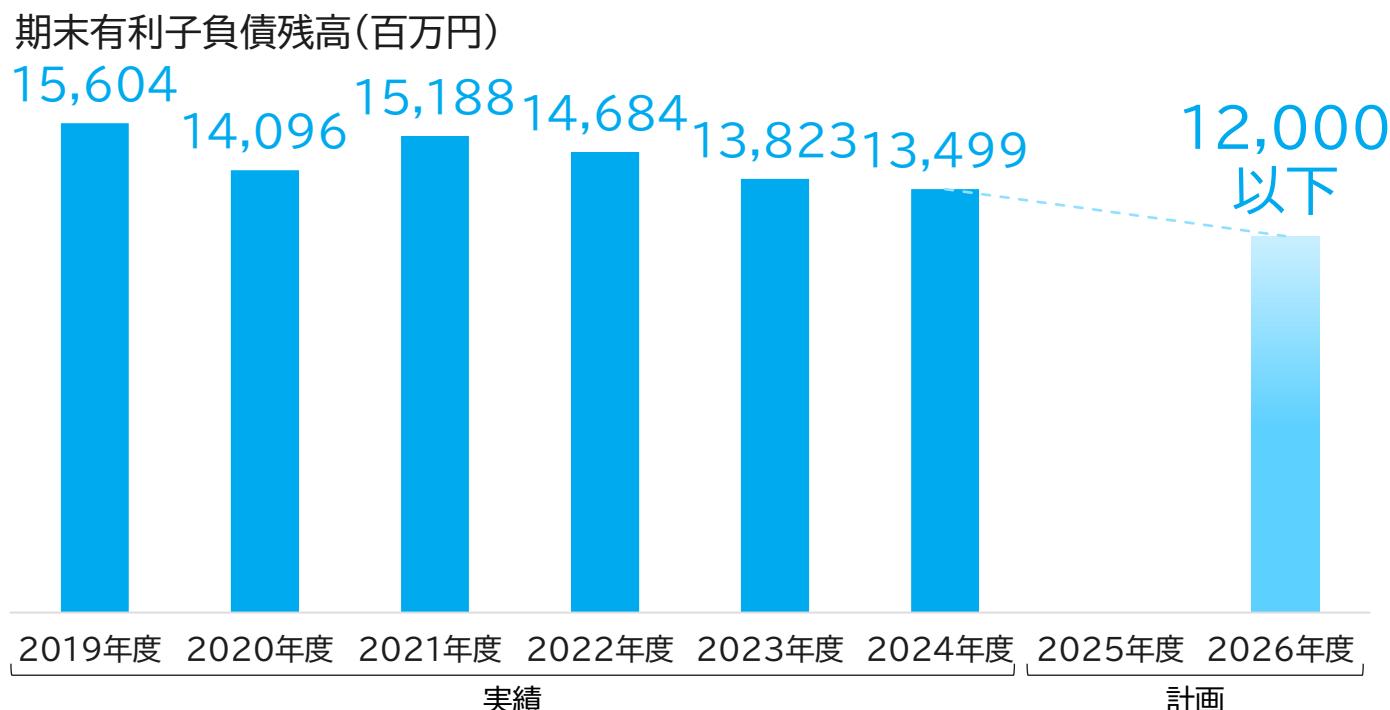
配当性向目標の進捗

- ◆ 明確な数値基準を設定し、各年度とも30%程度を目標
- ◆ 財務体質の強化を考慮しつつ、利益に応じた分配を実施
- ◆ 2024年度は前期比10円増の90円の配当を実施(配当性向27.7%)



期末有利子負債残高目標の進捗

- ◆ 3年間で約20億円を削減し、**2026年度に120億円以下**とする目標
- ◆ 財務体質強化のため、利益計上や運転資金の効率運用などで圧縮を推進
- ◆ 2024年度は前期比3.2億円の削減にとどまる

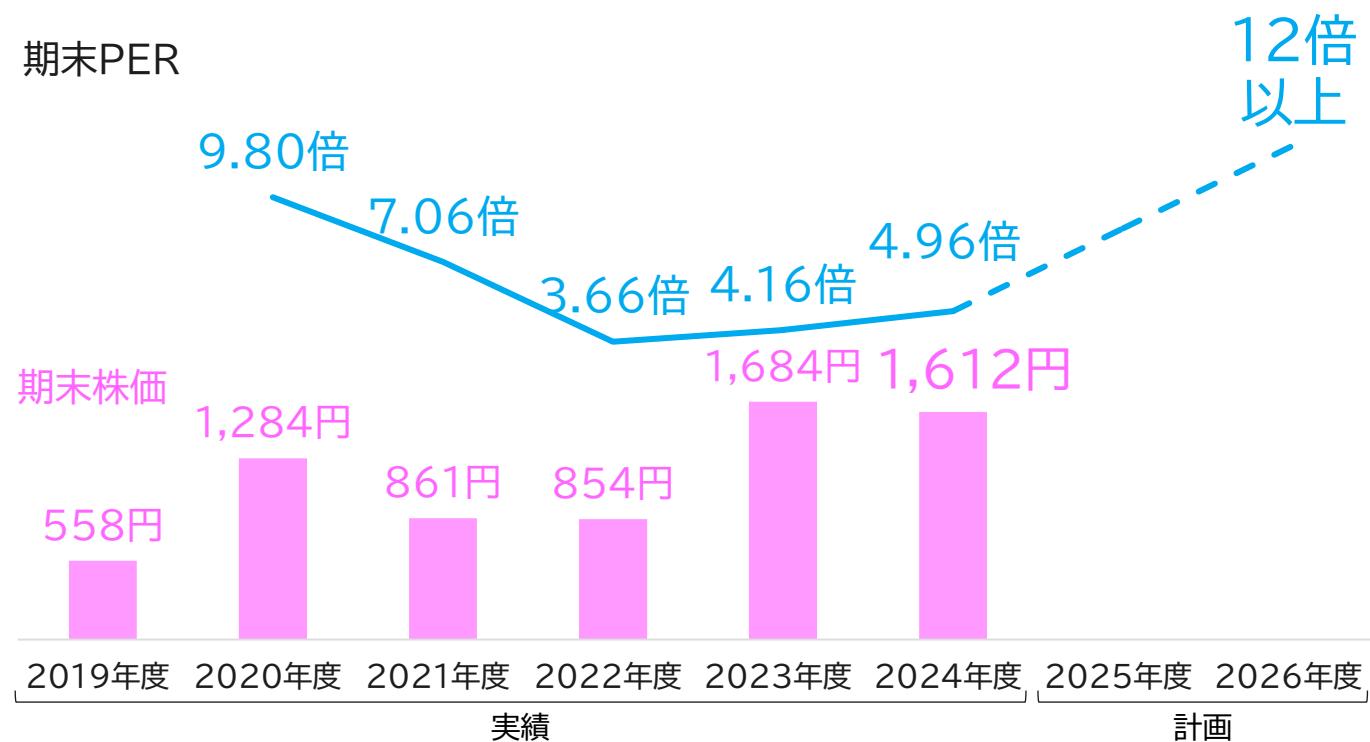


- ◆ **利益計上と運転資金圧縮により削減を継続**
- ◆ **政策保有株式の縮減などにより資本効率を向上**

*期末有利子負債には、割引手形の期末残高を含む

期末PER目標の進捗

- ◆ IRの強化で市場での認知度を高め、2026年度に12倍以上とする目標
- ◆ 2024年度は情報発信の拡充に取組むも株価は伸び悩み
- ◆ 2024年度末の株主数は個人を中心に前期末比24%増加の効果も



- ◆ 収益拡大を実際の業績で示し企業成長をアピール
- ◆ 情報発信の取組みを継続
- ◆ 政策保有株式の縮減などにより資本効率を向上

数値目標の進捗(まとめ)

	2019年度 実績	2020年度 実績	前中期経営計画			本中期経営計画		
			2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 計画	2026年度 計画
経常利益 (百万円)	272	676	634	1,340	1,909	1,431	累計 5,500以上	
期末自己資本比率 (%)	7.3	12.6	14.6	19.3	28.7	31.9		35以上
ROE (%)	△30.5	23.2	15.5	23.5	27.0	16.1		15以上
配当性向 (%)	—	—	—	17.1	19.7	27.7	30程度	
期末有利子負債残高 (百万円)	15,604	14,096	15,188	14,684	13,823	13,499		12,000 以下
期末PER (倍)	—	9.80	7.06	3.66	4.16	4.96		12以上
(参考)期末株価 (円)	558	1,284	861	854	1,684	1,612		
(参考)期末PBR (倍)	1.29	1.84	1.02	0.75	0.90	0.72		

*期末有利子負債には、割引手形の期末残高を含む

業績等



業績概要・業績予想（10月31日上方修正）

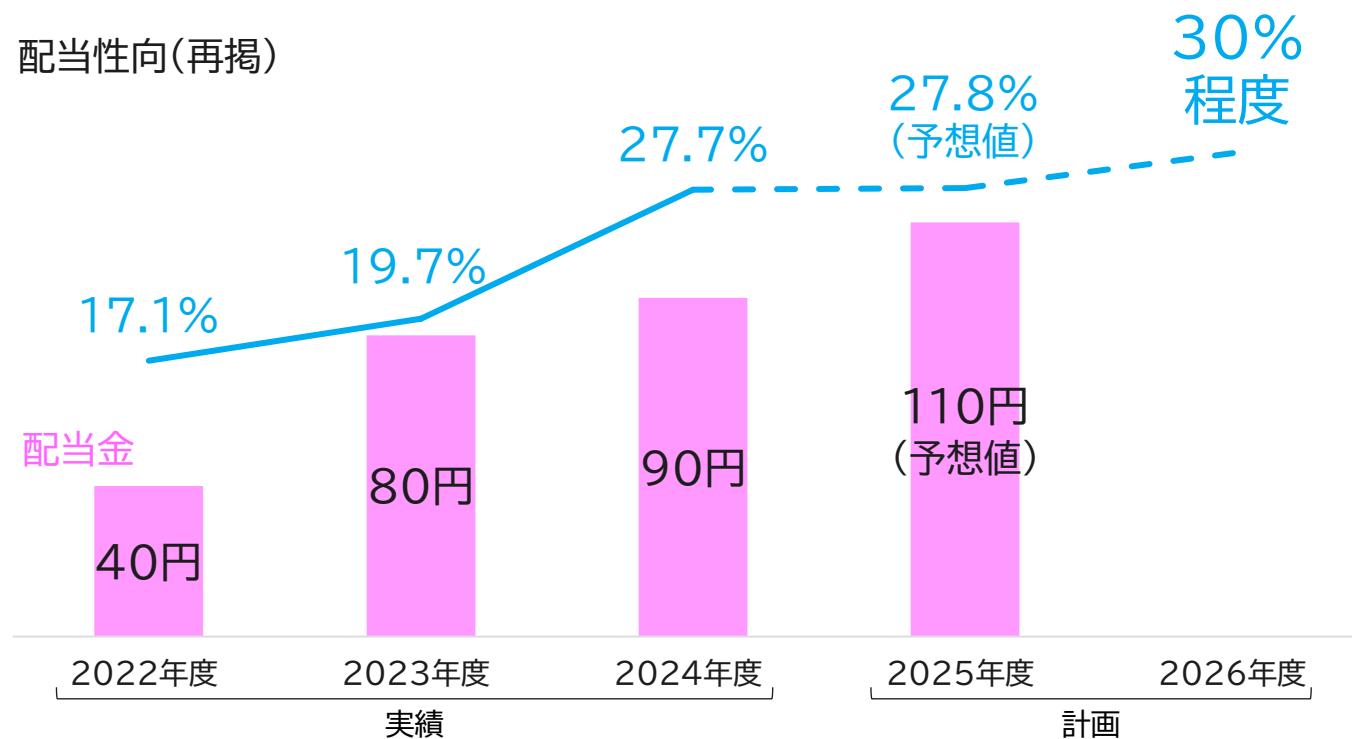


- ◆増収に加え食品関連での販売価格調整の浸透などにより増益予想
- ◆特別利益に政策保有株式一部縮減に伴う投資有価証券売却益など計上

	2023年度		2024年度			2025年度		
	実績 (百万円)	売上比 (%)	実績 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)	予想 (百万円)	売上比 (%)	前期比 (%)
売 上 高	40,204	100.0	40,158	100.0	△0.1	43,000	100.0	+7.1
売 上 総 利 益	8,593	21.4	8,403	20.9	△2.2	9,000	20.9	+7.1
販 管 費	6,799	16.9	7,017	17.5	+3.2	7,250	16.9	+3.3
営 業 利 益	1,793	4.5	1,385	3.5	△22.7	1,750	4.1	+26.3
経 常 利 益	1,909	4.7	1,431	3.6	△25.0	1,700	4.0	+18.7
当 期 純 利 益	1,655	4.1	1,321	3.3	△20.2	1,550	3.6	+17.3
1株当たり純利益	405.25円	–	324.85円	–	△19.8	396.22円	–	+22.0
1株当たり配当金	80.00円	–	90.00円	–	+12.5	110.00円	–	+22.2

株主還元

- ◆中期経営計画に基づき、財務体質の強化を考慮しつつ、明確な数値基準として「連結配当性向30%程度」を設定し利益に応じた分配を実施
- ◆2025年度は4期連続増配となる20円増配の110円を予定



株価推移



注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

